

# レクリエーション・飯盒炊飯の思い出 つどい大会

町内4つの小学校6年生を対象に、6月1・2日と「第16回少年少女つどい大会」が開催されました。

6年生11人が参加をしてレクリエーション・飯盒炊飯などを行い、思い出に残る楽しいひとときを過ごしました。



どんな夢をみているのかな

## 友だちができてうれしい



白浜小  
鈴木 恵子さん

このつどい大会で楽しかったことは飯盒炊飯でした。青少年相談員の方たちと一生懸命作り、とてもおいしかったです。ゴミゼロ運動もみんな協力して拾ったのできれいになりました。かるた大会も楽しかったし、一番うれしかったのは他の学校の人たちと友達になれたことです。お世話になった方や新しく友達になった人、そしてこのつどい大会の思い出を絶対に忘れたいと思います。とても楽しかったです。

▲ みんな夕飯の支度に大忙しです。包丁の扱いはどうかな？

## お年寄りと交流



## 道路傍に花作り

富下の布施ひでさん(71歳)は、自宅前の道路に花を作り道行く人を楽しませています。花が好きな布施さんは、10年前から道路に作り始め、四季折々の花を咲かせています。道行く人に「きれいだね」と声をかけられるのを楽しみに励んでいます。

入院した時も「花のことが気になってしかたがなかった。」



▲花作りが何よりも楽しみな布施さん

このコーナーは、広報通信員の方々から連絡があったものを取材し、掲載しました。



と話してくれました。現在は、20〜30種類の花が植えられています。

通信員 布施隆平(富下)

6月2日に長塚クリーン友の会のみなさんと集落のお年寄りが手作りのお寿司を食べながら、これからの生きがいについてどの様に人生を楽しく生きるかを話し合いました。楽しく有意義な一日を過ごし、人とのふれあいの大切さを知りました。

通信員 実川恵子(長塚)